

研究名：

腹腔鏡下噴門形成術の周術期管理における経鼻空腸チューブの有用性の検討

1. 研究の目的

胃食道逆流症に対する腹腔鏡下噴門形成術は、手術後に一時的に胃からの排泄障害を起こし、食事や経管栄養剤、内服薬の使用が難しくなる場合があります。そのため手術の前後で経鼻空腸チューブを使用し、栄養剤や内服薬を投与する場合があります。本研究では過去の診療録を参照し、経鼻空腸チューブの留置によるメリット・デメリットを検討します。

2. 研究の方法

対象：2003年から2018年間に群馬県立小児医療センター小児外科で腹腔鏡下噴門形成術を実施した方

方法：過去の診療記録をもとに調査を行います

3. 情報の公表

研究結果は日本静脈経腸栄養学会雑誌という学術雑誌に投稿し、論文として公開される予定です。

患者様の個人情報公表されることはありません。

4. 研究実施機関およびお問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

群馬県立小児医療センター 小児外科 高澤慎也

住所：〒377-8577 群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地

電話：0279-52-3551